

# 克明の子

学校通信

令和6年(2024年)11月8日  
発行) 校長 吉川有美子

## 2学期が折り返しました!



立冬を迎え、例年よりも気温が高めとはいえ、秋らしい

ひんやりとした日も増えてきました。子どもたちは、運動会

でのすばらしい活躍を終え、次の目標に向かって歩みだしています。秋の校外学習、学習発表会、作品展、太鼓づくり、かがやき学習・・・それぞれの学年で活動しています。朝晩の気温の差が大きいので、かぜをひかないように衣服で調節をする、手洗い習慣を続けるなど健康管理にご留意ください。

来月は、2回目の個人懇談もごさいます。子どもを真ん中に据えていろんな話をして、学校と家庭とがより深い信頼関係を築くことができれば、と願っております。よろしくお願いたします。

### 「ひとつのことば」～ 全校朝会でのお話～

北原白秋さんの詩をつかって、子どもたちに、「みんなには、言われた人が傷ついて、痛くて苦しくて泣いてしまうようなことばは使ってほしくありません。相手を思いやることば、聞いていて気持ちのよいことばで克明小学校がいっぱいになるといいね。」という講話をしました。ひとつのことばを大切に。ひとつのことばでぽかぽかに。おうちでは、いかかでしょうか。ぜひ、お子さんと一緒に普段つかっていることばを振り返ってみてください。

### なわとび世界チャンピオンとの出会い

先日5日(火)、世界チャンピオンでプロなわとびプレイヤーの黒野さんをお招きし、デモンストレーションを披露していただいたりなわを跳ぶコツを教えていただいたりしました。また、子どもたちは、黒野さんのご指導で、音楽に合わせていろんな跳び方を組み合わせたパフォーマンスの実践にチャレンジしました。四重跳び・五重跳びや「なわとびでそんなことができるの!!」とばかりに、子どもたちは感嘆の声をあげていました。



## 全国学力・学習状況調査の結果について

1学期4月18日、6年生対象に全国学力・学習状況調査(学力テスト)が行われました。今年度の実施教科は、国語と算数の2教科でした。概要ではありますが、結果をお知らせします。

### 【国語について】

本校の国語の学習指導要領の内容の平均正答率の状況は、話すこと・聞くこと、書くことでは全国・大阪府と比べると概ね同じくらいでしたが、読むことについては全国・大阪府に及びませんでした。よくできていたところは、文の中の主語と述語との関係を捉えることができる、目的や意図に応じて、内容を分類したり検討したりする問題でした。反対に、文の中で漢字を正しく使う、登場人物の相互関係や心情について描写をもとに捉えるという点で、課題が見られました。

### 【算数について】

算数の学習指導要領の内容の平均正答率の状況は、数と計算、図形、変化と関係において概ね全国・大阪府と同じくらいで、データの活用においては、全国・大阪府を上回っていました。

よくできていたところは、簡単な二次元表を読み取り、必要なデータを取り出して落ちや重なりがないように分類整理するという問題でしたが、反対に、数量の関係を捉えての立式や、計算に関して成り立つ性質の活用には課題が見られました。

### 【児童質問紙について】

児童質問紙では、本校の子どもたちの強みは、「自分にはよいところがある」「先生はあなたのよいところをみとめてくれている」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」という点について、肯定的な回答が全国・大阪府を上回っているところ、学習面についても、学び方の工夫、自分の考えを伝えるための工夫、タブレットの活用において全国・大阪府と比べて前向きな姿勢が見られることでした。しかし、先に挙げましたどの質問にも、1割未満の否定的な回答があることについては、重要課題であると捉え、子どもたち一人ひとりの思いや頑張りを受け止め、自己肯定感や自信を高めることを大切に、取り組みの充実を図ってまいります。

これらの調査結果を活かしながら、本校の1年間の指導計画や単元ごとの指導を振り返り、今後の授業改善と指導に努めてまいります。